



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2019年7月30日

上場会社名 東邦金属株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5781 URL <http://www.tohokinzoku.co.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)小樋 誠二
 問合せ先責任者 (役職名)取締役総務部長 (氏名)森本 幾雄 (TEL)06(6202)3376
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の業績(2019年4月1日~2019年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	993	4.6	13	△73.2	24	△57.1	21	△50.1
2019年3月期第1四半期	949	6.0	50	116.9	57	5.3	43	△3.6

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	9.29	—
2019年3月期第1四半期	18.60	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	4,886	2,285	46.8
2019年3月期	5,006	2,291	45.8

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 2,285百万円 2019年3月期 2,291百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	—	—	0.00	0.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,250	2.2	100	△30.7	92	△42.6	70	△5.8	30.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期1Q	2,338,001株	2019年3月期	2,338,001株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	19,066株	2019年3月期	19,033株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期1Q	2,318,935株	2019年3月期1Q	2,319,082株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間(2019年4月1日～2019年6月30日)におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続き緩やかな回復基調が続いていましたが、中国をはじめとする海外経済の減速を受け、輸出や生産の落ち込みによる企業業績に影響が見え始め、景気の足踏み感が漂い始めています。

海外においても、米中の貿易摩擦や英国のEU離脱交渉の難航等により不安定な情勢が続いており、景気の下振れリスクが一層高まっております。

このような状況下、当社は安定した利益の確保を最重要課題に掲げ、売上高の確保及び材料歩留改善、生産性改善、購入価格低減、固定費削減などの原価低減活動に注力しました。

当社の業績に大きな影響がある主要材料価格は、前年同四半期に比べ、APT(タングステン材料)は20%下落、Mo3(モリブデン材料)は4%上昇、自動車用電極材料のイリジウムは17%上昇で推移しました。

売上高は、半導体市場の落ち込みによるタングステン・モリブデン製品の減少や前期に引き続き電子レンジ用部品販売の減少がありましたが、自動車用電極部品において販売量の増加及び市況価格連動に伴う販売価格の上昇により、993百万円(前年同四半期 949百万円)と前年同四半期比4.6%増となりました。

損益面は、引き続き原価低減活動に注力いたしましたが、電子レンジ用部品販売の減少やタングステン・モリブデン製品の販売の減少に対し、固定費の削減に努めましたが未達成に終わり、営業利益は13百万円(前年同四半期 50百万円)となり、経常利益は24百万円(前年同四半期 57百万円)、四半期純利益は21百万円(前年同四半期 43百万円)となりました。

セグメント区分別の状況は、次のとおりであります。

(電気・電子)

タングステン・モリブデン製品の売上高は、半導体市場の落ち込みにより、349百万円(前年同四半期 405百万円)と14.0%の減収となりました。

合金及び電気・電子部品の売上高においても、半導体市場の落ち込みによるタングステン・モリブデン製品の販売減少により、145百万円(前年同四半期 194百万円)と24.8%の減収となりました。

その他製品は、自動車用電極部品において販売量の増加及び市況価格連動に伴う販売価格の上昇により、売上高は391百万円(前年同四半期 257百万円)と51.9%の増収となりました。

この結果、電気・電子合計の売上高は886百万円(前年同四半期 857百万円)と3.4%の増収となりましたが、タングステン・モリブデン製品や合金及び電気・電子部品の販売減により、固定費の吸収が追いつかず、営業利益は21百万円(前年同四半期 59百万円)となりました。

(超硬合金)

超硬合金は、工期の遅れにより軟弱地層でのトンネル工事の補助工法の販売減を都市土木用工具の販売で補った結果、売上高は107百万円(前年同四半期 92百万円)と16.4%の増収となりましたが、トンネル工事の補助工法の販売減の影響により、営業損失7百万円(前年同四半期 営業損失8百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産は2,929百万円(前事業年度末 3,028百万円)となり、98百万円減少しました。主たる要因は、受取手形及び売掛金の減少170百万円、仕掛品の増加38百万円、原材料及び貯蔵品の増加21百万円及び現金及び預金の増加16百万円によるものであります。

(固定資産)

当第1四半期会計期間末における固定資産は1,957百万円(前事業年度末 1,977百万円)となり、20百万円減少しました。主たる要因は、有形固定資産の増加21百万円及び投資有価証券の減少40百万円によるものであります。

(流動負債)

当第1四半期会計期間末における流動負債は1,613百万円(前事業年度末 1,693百万円)となり、79百万円減少しました。主たる要因は、その他の減少29百万円、電子記録債務の減少27百万円、支払手形及び買掛金の減少22百万円、短期借入金の減少18百万円、未払法人税等の減少18百万円及び賞与引当金の増加36百万円によるものであります。

(固定負債)

当第1四半期会計期間末における固定負債は988百万円(前事業年度末 1,021百万円)となり32百万円減少しました。主たる要因は、役員退職慰労引当金の減少34百万円によるものであります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産は2,285百万円(前事業年度末 2,291百万円)となり6百万円減少しました。主たる要因は、四半期純利益21百万円及び評価・換算差額等の減少28百万円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の業績予想につきましては、2019年5月14日に発表いたしました通期の業績予想の数値から変更はございません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	332,316	348,629
受取手形及び売掛金	1,224,890	1,054,340
電子記録債権	155,103	141,811
商品及び製品	68,092	63,492
仕掛品	792,465	831,428
原材料及び貯蔵品	439,857	460,989
その他	32,064	29,182
貸倒引当金	△16,161	△239
流動資産合計	3,028,630	2,929,636
固定資産		
有形固定資産		
土地	782,785	782,785
その他(純額)	512,782	534,226
有形固定資産合計	1,295,567	1,317,012
無形固定資産	18,600	17,157
投資その他の資産		
投資有価証券	570,733	530,259
その他	105,149	105,081
貸倒引当金	△12,432	△12,457
投資その他の資産合計	663,450	622,883
固定資産合計	1,977,618	1,957,053
資産合計	5,006,249	4,886,689
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	226,570	203,973
電子記録債務	326,267	298,595
短期借入金	770,545	752,500
未払法人税等	26,503	7,748
賞与引当金	68,066	104,487
その他	275,399	246,052
流動負債合計	1,693,353	1,613,357
固定負債		
長期借入金	540,000	547,500
退職給付引当金	245,820	249,240
役員退職慰労引当金	100,615	65,870
その他	134,567	125,551
固定負債合計	1,021,002	988,161
負債合計	2,714,355	2,601,519

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2019年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,531,828	2,531,828
資本剰余金	237,794	237,794
利益剰余金	△758,138	△736,597
自己株式	△27,474	△27,502
株主資本合計	1,984,009	2,005,523
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	307,884	279,646
評価・換算差額等合計	307,884	279,646
純資産合計	2,291,894	2,285,169
負債純資産合計	5,006,249	4,886,689

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	949,942	993,829
売上原価	759,691	857,892
売上総利益	190,250	135,936
販売費及び一般管理費		
従業員給料及び手当	42,470	47,232
賞与引当金繰入額	7,136	9,195
役員退職慰労引当金繰入額	4,175	3,725
退職給付費用	2,193	2,651
減価償却費	6,045	3,616
貸倒引当金繰入額	1,121	△15,906
その他の一般管理費	76,735	71,938
販売費及び一般管理費合計	139,877	122,452
営業利益	50,373	13,484
営業外収益		
受取利息及び配当金	9,227	13,106
その他	1,138	1,855
営業外収益合計	10,365	14,961
営業外費用		
支払利息	2,921	3,005
その他	57	655
営業外費用合計	2,978	3,660
経常利益	57,759	24,784
特別損失		
固定資産除却損	-	1,442
特別損失合計	-	1,442
税引前四半期純利益	57,759	23,342
法人税、住民税及び事業税	14,614	1,801
法人税等合計	14,614	1,801
四半期純利益	43,145	21,540

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。